

泰仙寺便り

第11号

平成29年9月1日

発行 真宗大谷派 泰仙寺

みやま市瀬高町泰仙寺12番地



ノスタルジックな切子灯籠 (きりことろう)

お盆はご先祖のご恩に感謝し、いただいた命に感謝し、亡き方に思いを馳せて、静かに手を合わせたことでしょうか。東本願寺は正式には切子灯籠をお内仏の横に下げます。

とてもきれいですね。でも、この灯籠、実は逆さづりになって地獄に落ちていく姿を現しているという説もあるんですよ。

もともとお盆は、お釈迦さまのお弟子の目連尊者のお母さんが餓鬼道に落ちて苦しんだという物語が、お盆の供養のもとになっているのですから……。

なんちゃって竹とうろう

裏の竹を切って、竹とうろうを作り、灯してみました。

なかなかいい感じ、来年はもう少し早くから準備して石畳の横に並べてみようかなあと思案中。

とにかく、なにより、竹を切るのが一番大変でした……。



お盆 ありがとうございます

お盆は、住職亜由美、副住職真実、母春代、九州大谷仏教科の越智ふみかさん、の四人でお参りさせていただきました。仏縁ありがとうございました。
「泰仙寺便り、楽しみにしています」という声に一人喜んでおります（笑）

ヘレン・ケラーの気持ち



井戸の蛇口をひねれば流れ出す冷たい井戸水。
サリバン先生がヘレン・ケラーの手に水を注ぐと突然「WATER」と物には名前があることを覚ったというエピソード。
ハッとする冷たさ。気持ちいいですよ。

注！お蕎麦屋さんではありません



お盆の三日間は、鍵が開いていることが分かるよう、玄関には涼しげなのれん。
朝、のれんをかけると気分は「営業中」
夕方、のれんを取り込むと「閉店」
お蕎麦屋さんの気分になりました（笑）。

野生の朝顔

お寺の裏の竹林に野生の朝顔が。

すがすがしい朝にひっそりと咲く朝顔。

小学生の夏休みの朝、庭先に咲く朝顔、ラジオ体操・・・昔を思い出す46歳の夏の朝でした。



お盆にお手伝いしてくれた九州大谷仏教科2回生の越智ふみかさん。
みやま市山川町の入性寺の3姉妹の三女。三女ですが、お寺の跡継ぎ。
どこもお寺の跡継ぎ問題、ありますね・・・
私も妹たちに託したこともありましたが・・・。

秋の彼岸法要のご案内 どなた様もお参りください

日時 平成29年9月24日（日） 午後2時より

場所 泰仙寺 筑紫野市諸田348番地 TEL092-927-1691

講師 九州大谷短期大学教授 吉元信暁先生

（親しみやすい、元アメフト部のがっちり系、5人の子供のパパです）

講題「夕やけ 小やけで 日が暮れて一さあ、どこに帰りましょうか？」

今月の言葉

「息ぬく力 生き抜く力」

「正」という字は「一」に「止」と書きます。自分が正しいと思って突っ走っているときには周りの声が聞こえなくなっていることがあります。
そんな時こそ 「一度立ち止まる勇気」それが「正」という字です。
一度、立ち止まって息をぬいてみませんか？それが「生き抜く力」となるはずですよ。